



平成25年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月 7 日

上 場 会 社 名 株式会社ストリーム

上場取引所

東証マザーズ

コ ー ド 番 号 3071

URL <http://www.stream-jp.com/>

代 表 者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)劉 海濤

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長

(氏名)竹下 謙治

TEL (03)6858 - 8189

四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1 . 平成25年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成24年 2 月 1 日 ~ 平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 1 月期第 3 四半期	17,647	34.6	520	—	528	—	612	—
24年 1 月期第 3 四半期	26,978	2.8	62	80.6	77	76.7	22	88.2

(注) 包括利益 25年 1 月期第 3 四半期 606百万円(—%) 24年 1 月期第 3 四半期 12百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 1 月期第 3 四半期	15,391 50	— —
24年 1 月期第 3 四半期	571 16	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 1 月期第 3 四半期	4,586	1,129	24.2
24年 1 月期	5,696	1,732	30.1

(参考) 自己資本 25年 1 月期第 3 四半期 1,111百万円 24年 1 月期 1,715百万円

2 . 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 1 月期	— —	0 00	— —	0 00	0 00
25年 1 月期	— —	0 00	— —		
25年 1 月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 . 平成25年 1 月期の連結業績予想 (平成24年 2 月 1 日 ~ 平成25年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,515	27.9	502	—	518	—	652	—	16,392 61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- 以外の会計方針の変更 : 無
- 会計上の見積りの変更 : 無
- 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

25年1月期3Q	42,750株	24年1月期	42,750株
25年1月期3Q	2,953株	24年1月期	2,953株
25年1月期3Q	39,797株	24年1月期3Q	39,797株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 対処すべき課題	4
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等により、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、円高の長期化、株価の低迷、欧州経済の長期的な混乱などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

インターネット関連市場につきましては、従来からの携帯電話やPC端末を通じたインターネット利用に加えて、スマートフォンやタブレット端末の利用が急速に拡大し、又、高速モバイル通信の普及等によるインターネット利用環境の整備が更に進み、今後も安定的に成長、拡大を続けることが期待されております。

一方、当社が属する家電小売業界につきましては、政府の家電エコポイント制度の終了や地上デジタル放送への移行に伴う需要先食いの反動により、家電小売業界がかつてないほどの低迷を続けており、業界再編の動きが加速しております。

このような状況の中、当社のインターネット通販事業におきましては、販売収益施策として、適正な利益確保の為に「販売価格の最適化システム」の構築に着手し、又、「既存顧客の活性化」、「新規顧客の定着化」等の集客策として、「フラッシュマーケティング」等を実施いたしました。しかしながら、現在の厳しい事業環境下において収益確保が困難な状況にあることから、同事業の売上高は前年同四半期比8,241百万円減（33.6%減）の16,295百万円と大幅な減収となりました。

主力取扱商品の動向としましては、薄型テレビは前年同四半期比74.8%減、パソコン47.3%減、家電全般でも37.6%減と厳しい状況が続いております。

他方、省エネ意識の定着により、LED照明器具104.4%増、エアコン31.0%増、及び一眼レフカメラの交換レンズ等の関連商品は94.8%増と堅調に推移いたしました。

費用面につきましては、販売管理費全体として401百万円（前年同四半期比17.0%減）減少いたしましたが、物流倉庫移転による地代家賃の増加などがあり、大幅な費用削減には至りませんでした。

その結果、インターネット通販事業における売上高は16,295百万円（前年同四半期比33.6%減）、営業損失489百万円（前年同四半期は59百万円の営業利益）となりました。

インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第3四半期連結累計期間	16,295	489	38,770	741	6,691
前第3四半期連結累計期間	24,537	59	76,177	1,035	5,940

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	8,288	1,756	3,586	2,664	16,295
前第3四半期連結累計期間	13,279	3,329	4,755	3,172	24,537

当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。

その他事業につきましては、欧州経済不安の影響から、太陽光関連のバックシートの販売が前年同四半期比1,441百万円減(73.3%減)の524百万円と大きく下落いたしました。塗料部門では中国国内の自動車生産台数の伸びにより、需要が堅調に推移し前年同四半期比12.7%の増収となりました。

又、食品部門については、主力のトレハロース及び他の食品添加剤も安定した受注があり、前年同四半期比10.6%の増収となりましたが、太陽光部門の収益の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

その結果、その他事業における売上高1,351百万円(前年同四半期比44.6%減)、営業損失31百万円(前年同四半期は3百万円の営業利益)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高17,647百万円(前年同四半期比34.6%減)、営業損失520百万円(前年同四半期は62百万円の営業利益)、経常損失528百万円(前年同四半期は77百万円の経常利益)となりました。又、平成24年2月に判明した過年度決算訂正に係る関連費用61百万円、倉庫移転に伴う物流拠点移転費用23百万円を特別損失に計上するとともに、繰延税金資産を一部取崩したことにより、四半期純損失612百万円(前年同四半期は22百万円の四半期純利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,110百万円減少し、4,586百万円となりました。これは主に、売上減等による受取手形及び売掛金447百万円減少、商品541百万円減少、未収入金の減少等による流動資産「その他」54百万円減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ506百万円減少し、3,457百万円となりました。これは主に、買掛金114百万円減少、短期借入金84百万円減少、1年内償還予定の社債61百万円減少、長期借入金139百万円減少、未払法人税等93百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ603百万円減少し、1,129百万円となりました。これは主に、四半期純損失612百万円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、361百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、412百万円(前年同四半期は399百万円使用)となりました。収入の主な内訳は、減価償却費127百万円、売上債権の減少額469百万円、たな卸資産の減少額551百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失619百万円、仕入債務の減少額133百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、117百万円(前年同四半期は222百万円使用)となりました。収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入41百万円であり、支出の主な内訳は、差入保証金の差入による支出75百万円、無形固定資産の取得による支出87百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、301百万円(前年同四半期は664百万円増加)となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の純減額92百万円、長期借入金の返済による支出139百万円、社債の償還による支出61百万円によるものであります。

(3) 対処すべき課題

当社グループは前連結会計年度に3,464千円の営業損失を計上し、当第3四半期連結累計期間においても継続的に営業損失、経常損失、当期純損失を計上しております。一方、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同四半期比プラスとなり、又、前連結会計年度末に比べ長短借入金残高や商品在庫も減少させております。

このような現況に関し当社グループ(当社及び当社の関係会社)と致しましては、役員報酬や人件費をはじめ、費用の削減を実施しておりますが、更に諸経費の削減を進めると共に各種の収益改善策を講じる事により、業績の回復や負債の削減に努める所存であります。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く環境は引き続き不透明な状況で推移するものと思われます。

現時点での通期業績予想は、平成24年9月7日に開示いたしました「平成25年1月期 第2四半期決算短信」に記載の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	366,765	361,361
受取手形及び売掛金	2,151,255	1,704,206
商品	1,781,962	1,240,566
その他	345,408	290,551
貸倒引当金	2,618	2,223
流動資産合計	4,642,774	3,594,462
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,968	2,016
車両運搬具（純額）	16,425	12,004
工具、器具及び備品（純額）	83,211	73,851
建設仮勘定	2,939	1,556
有形固定資産合計	104,545	89,428
無形固定資産		
ソフトウェア	285,269	365,426
のれん	141,787	91,584
その他	106,872	15,824
無形固定資産合計	533,929	472,835
投資その他の資産		
投資有価証券	76,868	52,997
出資金	35,284	36,793
差入保証金	270,594	334,358
その他	32,095	5,234
投資その他の資産合計	414,843	429,385
固定資産合計	1,053,318	991,649
繰延資産		
社債発行費	190	-
繰延資産合計	190	-
資産合計	5,696,283	4,586,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,936,028	1,821,488
短期借入金	958,530	873,533
1年内返済予定の長期借入金	185,600	185,600
未払法人税等	98,546	5,015
賞与引当金	13,470	6,682
ポイント引当金	5,466	3,250
その他	340,067	274,013
流動負債合計	3,537,710	3,169,584
固定負債		
長期借入金	252,700	113,500
その他	173,592	173,998
固定負債合計	426,292	287,498
負債合計	3,964,003	3,457,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	619,625	619,625
資本剰余金	559,625	559,625
利益剰余金	783,461	170,925
自己株式	182,230	182,230
株主資本合計	1,780,480	1,167,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,316	30,486
為替換算調整勘定	47,431	26,292
その他の包括利益累計額合計	64,748	56,779
新株予約権	2,152	4,919
少数株主持分	14,395	12,943
純資産合計	1,732,280	1,129,028
負債純資産合計	5,696,283	4,586,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	26,978,035	17,647,132
売上原価	24,386,253	16,061,548
売上総利益	2,591,782	1,585,584
販売費及び一般管理費	2,529,413	2,106,445
営業利益又は営業損失()	62,368	520,861
営業外収益		
受取利息	360	291
受取配当金	10,049	8,459
為替差益	9,642	-
投資有価証券売却益	-	18,871
その他	7,017	4,182
営業外収益合計	27,069	31,804
営業外費用		
支払利息	9,793	31,975
為替差損	-	7,091
その他	2,470	229
営業外費用合計	12,263	39,296
経常利益又は経常損失()	77,174	528,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	189	-
ポイント引当金戻入額	2,541	-
特別利益合計	2,731	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	355
物流拠点移転費用	-	23,743
本社移転費用	7,470	-
過年度決算訂正関連費用	-	61,335
課徴金	-	6,000
災害による損失	6,551	-
特別損失合計	14,021	91,434
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	65,883	619,787
法人税等	42,230	5,799
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	23,653	613,988
少数株主利益又は少数株主損失()	922	1,452
四半期純利益又は四半期純損失()	22,730	612,535

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	23,653	613,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,066	13,169
為替換算調整勘定	12,648	21,139
その他の包括利益合計	35,714	7,969
四半期包括利益	12,061	606,018
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,984	604,566
少数株主に係る四半期包括利益	922	1,452

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	65,883	619,787
減価償却費	115,542	127,508
のれん償却額	50,203	50,203
貸倒引当金の増減額(は減少)	4,748	394
賞与引当金の増減額(は減少)	21,902	6,880
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,541	2,216
受取利息及び受取配当金	10,410	8,750
支払利息	9,793	31,975
売上債権の増減額(は増加)	386,039	469,844
たな卸資産の増減額(は増加)	464,549	551,236
仕入債務の増減額(は減少)	576,819	133,976
その他	30,865	78,020
小計	221,817	536,782
利息及び配当金の受取額	10,418	8,762
利息の支払額	11,116	32,043
法人税等の支払額	176,628	101,352
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,142	412,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	350	-
定期預金の払戻による収入	1,800	-
有形固定資産の取得による支出	9,303	6,029
無形固定資産の取得による支出	140,119	87,610
投資有価証券の取得による支出	13,297	4,674
投資有価証券の売却による収入	-	41,971
差入保証金の差入による支出	-	75,258
その他	61,404	14,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	222,674	117,171
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	441,135	92,387
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	37,100	139,200
社債の償還による支出	115,500	61,250
配当金の支払額	23,980	99
その他	-	8,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	664,555	301,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,088	747
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	38,649	5,404
現金及び現金同等物の期首残高	464,222	366,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	502,871	361,361

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,537,487	2,440,547	26,978,035	—	26,978,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	24,537,487	2,440,547	26,978,035	—	26,978,035
セグメント利益	59,067	3,301	62,368	—	62,368

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,295,976	1,351,155	17,647,132	—	17,647,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,295,976	1,351,155	17,647,132	—	17,647,132
セグメント損失()	489,651	31,209	520,861	—	520,861

(注)セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、612,535千円の四半期純損失を計上したため、株主資本が前連結会計年度末に比べ同額減少し、1,167,944千円となりました。